

## 退職理由、タテマエは「家庭の事情」。 ホンネは「人間関係」。

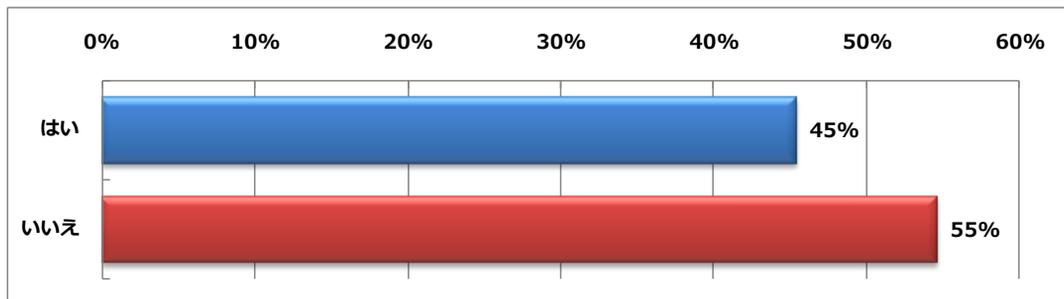
- 「[en]社会人の転職情報」サイトユーザー5000人、退職理由のホンネ・タテマエ調査-

人材総合サービスを提供するエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、転職情報サイト『[en]社会人の転職情報』（<https://employment.en-japan.com/>）は、サイトユーザー5000名を対象に「退職理由」に関するアンケートを実施いたしましたので、以下概要をご報告します。

### 1：会社に伝えた退職理由は、“ホンネと異なる”が約半数。(図1)

会社(人事)に伝えた退職理由がホンネとは異なるか聞いたところ、「はい」が45%、「いいえ」が55%という結果になりました。約半数の方が、会社(人事)に本当の退職理由を伝えていないことがわかりました。

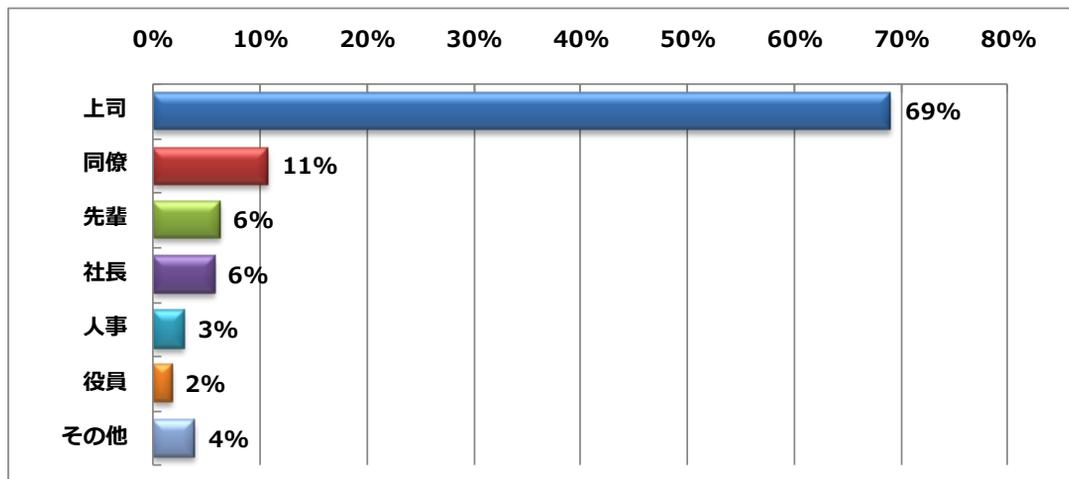
【図1】会社(人事)に伝えた退職理由はホンネと異なるものでしたか？



### 2：退職を決めた際、最初に報告した相手は「上司」。(図2)

退職を決めた時に、最初に報告をした相手は約7割の方が「上司」と回答しました。上司に報告後、人事や経営者へと退職が伝わっていくことを考えると、上司に伝えた退職理由が既にタテマエである可能性が高いことが考えられます。

【図2】退職を決めた時に、まず最初に会社の誰に報告しましたか？（相談は除く）



### 3：会社(人事)に伝えた退職理由は「家庭の事情」が最多

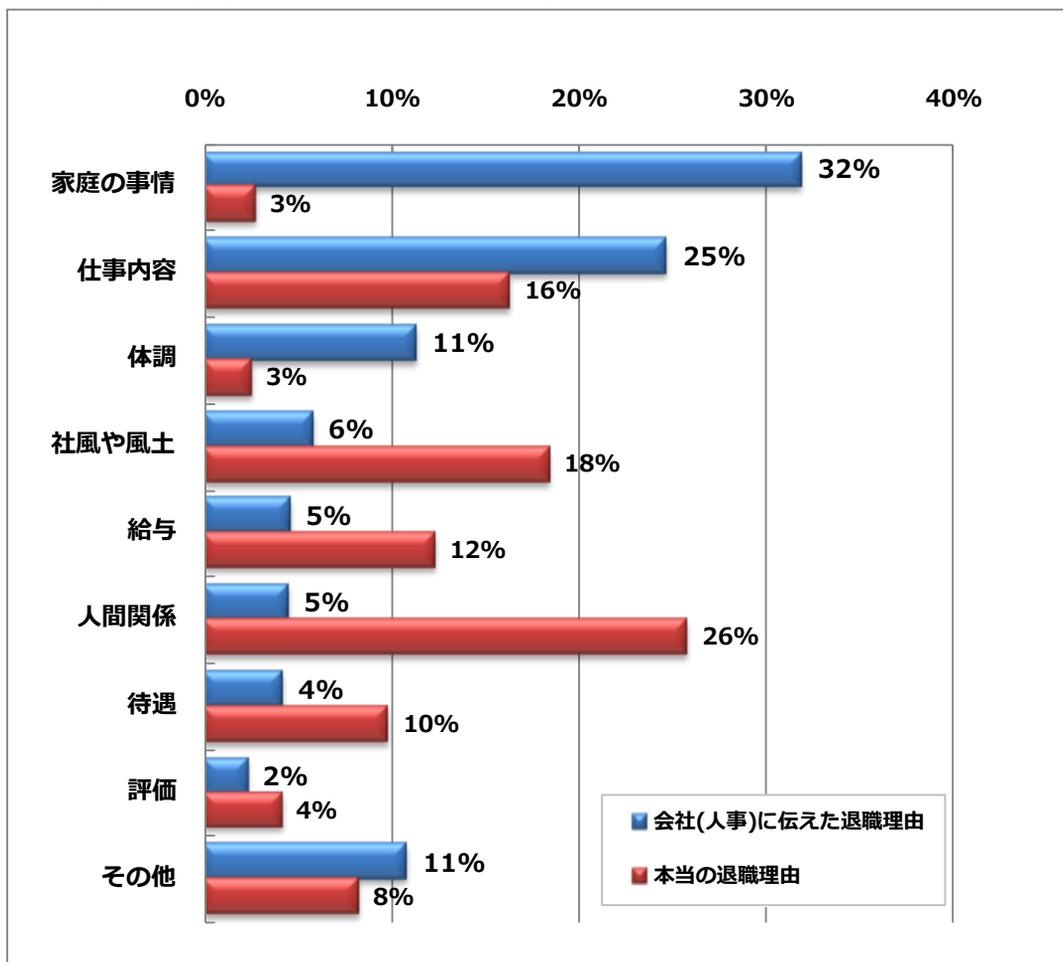
一方、本当の退職理由で最も多かったのは「人間関係」。(図3)

会社(人事)に伝えた退職理由として最も多かった回答は「家庭の事情」(32%)でした。家庭の事情はプライベートなことであるため、たとえ“タテマエ”だとわかっていたとしても、上司や人事が踏み込みにくい領域。引き止めることが非常に難しい理由であるからこそ、会社に伝えた退職理由として最も多く挙げられたものと思われます。

一方、本当の退職理由は「人間関係」が26%で最多となりました。「社風や風土」(18%)も人間関係との相関が深いと考えると、4割以上が仕事内容や給与・待遇といった労働条件とは異なる理由で占められています。また、タテマエ上の退職理由として最も多く挙げられた「家庭の事情」は3%と、本当の退職理由では最も低い結果に。「家庭の事情」という理由が、いかに利便性だけで使われているかがうかがえる結果となりました。

#### 【図3】会社(人事)に伝えた退職理由と本当の退職理由は以下のうちどれですか？

※代表的なものをひとつお答えください。

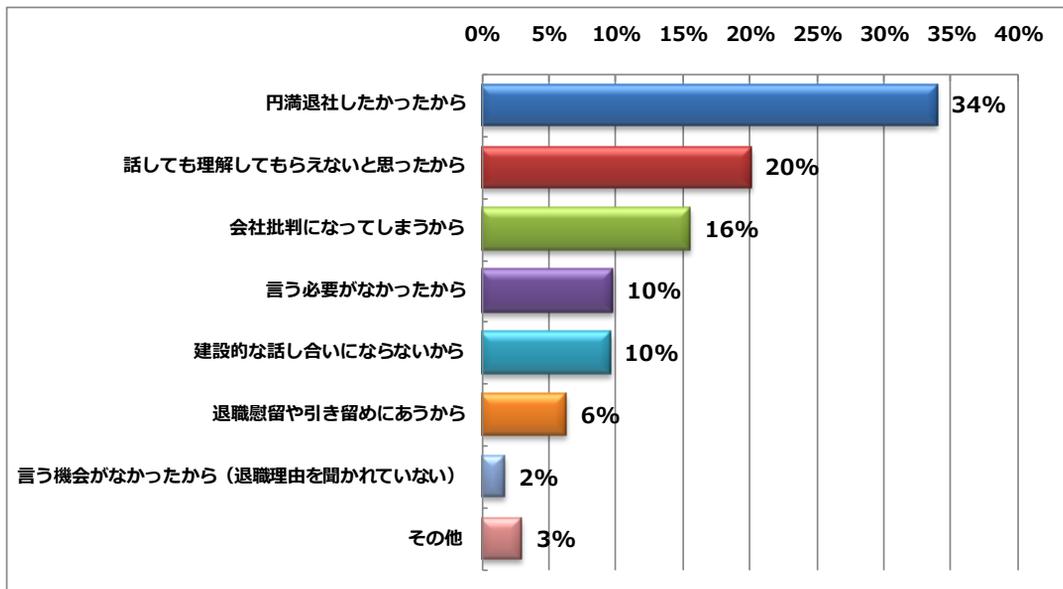


## 4：本音の退職理由を言えなかったのは「円満退社したかったから」。(図4)

会社(人事)に本音の退職理由が言えなかった理由は、「円満退社したかったから」が34%で最も多い回答となりました。会社に対して数々の不満を抱えながらも、最後は丸く収めたいという退職者特有の心理がうかがえます。

続く「話しても理解してもらえないと思ったから」(20%)という回答には、会社や経営者に対する不満の根深さが込められてはいるものの、3番目に多い回答としては「会社批判になってしまうから」(16%)が挙げられており、まさに“立つ鳥跡を濁さず”という心境にあるようです。

【図4】会社(人事)に本音の退職理由が言えなかった理由は何ですか？



### 【調査概要/ その他の調査項目】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：「[en]社会人の転職情報」利用者 4865名
- 調査期間：2013年7月4日～2013年7月9日
- その他の調査項目：下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。
  - ・あなたの会社でよくある(よくあった)退職理由は何ですか？
  - ・他人から聞いて“驚いた”退職理由などがあれば教えてください。